

パブリックコメント実施結果報告書

平成23年10月18日

| | |
|-----|--------------|
| 担当課 | 健康医療局医療政策課 |
| 担当者 | 前田 陽三 |
| 連絡先 | 0857-26-7228 |

意見公募のテーマ：

①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、 3（1）と記載してください。）

| 郵便 | ファックス | 電子メール | 県民課・県民局へ | その他の方法 | 計 |
|-----|-------|-------|----------|--------|-------|
| () | 5 (5) | () | () | () | 5 (5) |

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

②応募意見の政策案等への反映状況

| 対応状況 | 件数 | 主な意見 |
|-------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 反映した (一部のみ反映したものを含む) | 1 | 当該計画には、公民にかかわらず、その役割が適切に行われるような支援策等を盛り込んでおります。また、当該計画の策定に当たっては、民間の医療機関の方や地域住民を代表する方をメンバーとする地域医療対策協議会や鳥取県医療審議会においてその内容をご検討いただいております。これらで得られた意見やパブリックコメントで得られた参考に計画の成案とする予定です。 |
| 既に盛り込み済み | 1 | 「救急医療」、①救命救急センター、②二次救急医療機関、③休日夜間診療所が三位一体となって行われるものであり、三者の連携と共に個々の機関の整備が重要である。今回の計画では、①、③の整備が優先されているように見える。救急医療でもっとも大きな比重を占める②二次救急医療機関の支援を更に充実していただきたい。 |
| 今後の検討課題 | | |
| 対応困難 | 3 | 鳥取県におかれては新医師臨床研修制度により卒業後に県内病院で研修する医師が減少することにより、鳥取大学医学部の地域枠の拡大、奨学金の支給等様々な対策を立てて実行されていることに敬意を表します。一方、地域の病院では高齢社会が進む中で医師の減少に伴い取り扱い患者の増加、加えて救急医療への対応で医師の疲弊は進んでおり、医師確保は喫緊の課題となっています。こうした中、地域の病院では医療確保に向けて独自で他県から本県出身の医師確保を模索し成果をあげているところもあります。医療再生計画の期間中は医療・医師確保に努力する病院に対してその経費の1/2を助成されてはいたがどうか。 |
| その他 (例：施策の体系外の意見等) | | |
| 計 | | |

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

→とりネットのパブコメページ・
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

| とりネット (実施担当課) | 報道機関への 資料提供 | 県議会への報告 | 県民課等での 縦覧等 | 広報誌等への 掲載 | その他 |
|------------------|----------------|---------|---------------|--------------|-----|
| | | | | | ○ |

※その他：鳥取県医療審議会及び鳥取県地域医療対策協議会に報告。

